月刊 うおずみ
No.95
2016
4 月号

社会福祉法人 誠和会 （毎月 10 日頃発行）
特別養護老人ホームうおずみ
〒674-0071 明石市魚住町金ヶ崎 1609-9
TEL (078)948-3020・FAX (078)948-3021

うおずみは女の園！うれしいひな祭り到来で、気分は春です

春の訪れを感じる時。菜の花の香り、土筆の子、ウグイスの声を聞いたとき…色々あります。うおずみでは、立春を過ぎればひな人形を飾ります。これを片付ける頃には、コブシの花や桜の蕾が見られるかなと、巡る季節を想います。

施設内は、感染予防に緊張感が漂うシーズン。マスク姿の職員、面会者。そこに、ほっこり笑顔が生まれるのは、このひな人形を目にしたとき。「や～、きれーなー」皆様が集まって来られます。苦労して飾り付けた甲斐があるというもの。それもそのはず。うおずみは女の園。ご入居者・職員とも、圧倒的に女性の数が多い場所なのです。誰かが人形を鑑賞に来られたら、思わずシャッターを切ってしまいます。いい笑顔をこの紙面に飾るのが何より嬉しいことですよ。そして、いよいよ弥生。本当に春は間近です！

弥生女を祝う。ケーキよくいきましょう！

誕生日、貴方は嬉しいですか？また歳をとったと悲しくなりますか？

でも、みんなが盛大に祝ってくれたら、自然と笑いジワも増えちゃいますね。

3 丁目では、3 月生まれの方の誕生会を開催しました。アラカルトでショートケーキを買って。各々がチョイスしたケーキを食べながら、この日主役のお二人を祝いました。お一人は、うおずみ長寿番付横綱の谷静様。なんと、御年 103 歳！甘い物に目がない谷様。目の前にケーキが並ぶと、すぐさま平らげておられました。もうお一方は吉田ミサ子様。谷様の娘様に相当する年代です。こちらは遠慮がちにお上品に頬張っておられました。祝！誕生日。

私の履歴書 ～②徳永恭子様の場合～

戦後の貧しい時代、私は故郷の島根県簸川郡（現・出雲市）大社町で小学校の臨時教員をしていました。一人娘で、父は警察官。当時は女子が先生などするものじゃないという考えが一般的でした。両親もご多分にもれず、教員として働くのに反対していました。かくいう私も、実は教師の仕事があまり好きではなかったのです。勉強が好きな方ではありませんでしたから（笑）。

なかなか二十四の瞳の大石先生のようにはなれないものですね。でも、子供たちはかわいかったですよ。本当に。三年生を受け持っていましたが 30 名程のクラスひとつだけで、皆が家族のような関係でした。田舎の純粋で素直ないい子ばかりだったので、毎日癒やされていたのを思い出します。

時代は変わりゆくもの。今なら教師をもっと長く続けるかな…？

▲2/17、音楽療法でのお元気な姿

厨房だより おはしをつけましょ ひなちらし。女ざかりのひな祭り

うまい！

人生の節目に食すもの。それはいつも寿司です。節分には巻き寿司を食べ、花見にはちらし寿司弁当を携え出掛け、祝いの席ではにぎり寿司を振る舞います。うおずみでは、3 月 3 日のランチに恒例のひなちらしを召し上がっていただきました。ピカピカの銀シャリに、錦糸玉子、穴子、蓮根、干し椎茸などの具が沢山乗って。♪おはしをつけましょ、ひなちらし。舌鼓を打ちましょ、うおずみで。今日は楽しいひな祭り！

この日、うおずみでは女性利用者様が計 58 名いらっしゃいました。まさにここは女の聖地。大正生まれ、昭和生まれの女ざかりの方々が見せる美味しい顔にクギ付けです。

メニュー カミングス～ン

3/16 《健康米》 十穀米入りご飯
20 《春分の日》 筍ご飯
23 《ご当地フェア・静岡》
富士宮焼きそば風
4/1(金)・4(月)・6(水)
《 花見弁当 》
色彩豊かなスペシャル・メニューの予定です。どうぞお楽しみに！

スタッフ数珠つなぎ

看護師 渋川 恵子

誕生日 ・・・ ４月１４日
星座 ・・・ 牡羊座
出身地 ・・・ 徳島県

ひと言 ・・・

自他共に認めるプロ野球ファンです。毎年シーズン中は、開幕戦から球場に足を運んでいます。阪神が負けると、ちょっと不機嫌です…

病院勤務が長く施設勤務の経験は少ないですが、お気軽に声をかけて下さい。

よろしくお願いします。

優勝します！

うおずみ 人事 インフォメーション

●開設準備室時代よりお世話になって参りました、施設長の長井がこの 3 月末をもって退職することになりました。新任施設長・佐野が 3 月 16 日より勤務致します。長きに渡るご指導有り難うございました。皆様へは、随時ご挨拶させていただきます。

◆ ◇ ◆ これからのうおずみ ◆ ◇ ◆

3 月 8・22 日(火) 《 パン販売「なないろ」 》 12 時半頃
16 日(水) 《 日本理美容福祉協会 》 訪問理美容サービス
22 日(火) 《 ペン習字 》 13:45～(地)
9 日(水)・24 日(木) 《 音楽療法 》 13:45～(地)
日(金) 《 うおずみシネマクラブ 》 13:30～(地)
4 月 4 日(月) 《 青葉台うたうサークル 》 13:45～(地)
随時 《 各ユニットで観桜会開催！ 》 ※別紙をご覧下さい

㊧プリンとコーヒーを前に、笑顔がこぼれる（二月二十六日。五丁目にて）

▲ペン習字中の談笑（二月二十三日）

㊧誕生日会で（デイサービス）

編集後記

朝夕馴れにし学びの窓 蛍の灯火つむ白雪 ～ 昭和の時代まで卒業式などで唄われてきた「仰げば尊し」の歌詞です。

最近はあまり聴く機会のない歌ですが、これを聴くと何故だか涙腺が緩んでいきます。歌詞もメロディーも、本当に胸を打つものがありませんか？

さて、我が家最後の小学生である愛娘も、早いものでいよいよ卒業式を迎えます。いつまでも子供のままでいてほしい、子離れ困難なバカ親心が娘の成長を妨げるような想いです。でも唄ってほしいですね。卒業式でこの歌を。

我らが初代施設長も、間もなくうおずみ卒業です。怒濤の如く足早に過ぎた 8 年半、走馬灯のように駆け巡る多くのメモリーズ…ここに在校生より送辞を。

忘るる間ぞなき行く年月 今こそ別れめいざさらば ～ うおずみは永久に不滅です。